

放課後子ども教室だよ

玉井・大山子ども教室訪問

子ども教室充実のために

大玉村の放課後子ども教室（玉井子ども教室・大山子ども教室）は、平成21年に開設されました。教室では地域住民の協力のもと、子どもたちの体験活動を重視した活動プログラムが展開されています。公民館などで活動する他団体との交流活動や、栽培園での野菜の栽培活動を取り入れるなど、プログラムの充実が図られています。また今年度は、大学生がボランティアとして両教室あわせて6回参加し、子どもたちと触れあう機会が設けられています。

玉井子ども教室

大玉村（10月9日）

玉井子ども教室は、大玉村農村環境改善センターで毎週金曜日に実施しています。センターのホールや運動場を使って思いっきり体を動かすことができます。通常の活動では、染め物体験、しめ縄作りといった、年間で計画されている活動プログラムを行い、その後宿題、自由遊びをしながら迎えを待ちます。

訪問をした日は大正琴体験を行っていました。講師は地域のサークルで活動されている方々です。昨年も1度実施した内容ということもあり、慣れた手つきで演奏する子もいました。講師の方は、孫よりも小さな子たちと接することができて楽しいとおっしゃっていました。押し花で小物作りや絵手紙といった、地域の方を講師に招いた活動が、他にもたくさん用意されているそうです。



大山子ども教室

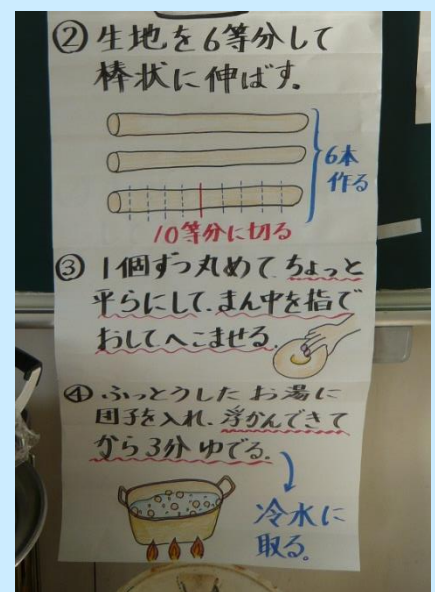
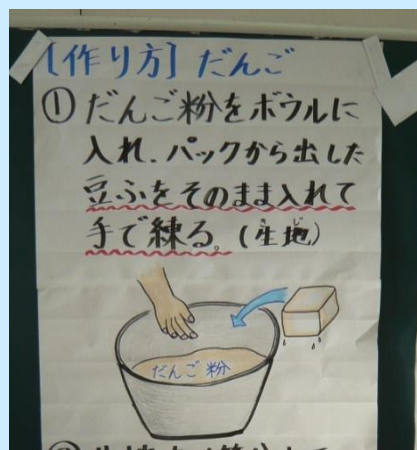
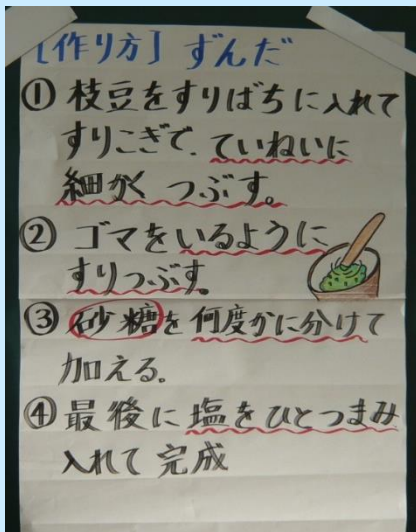
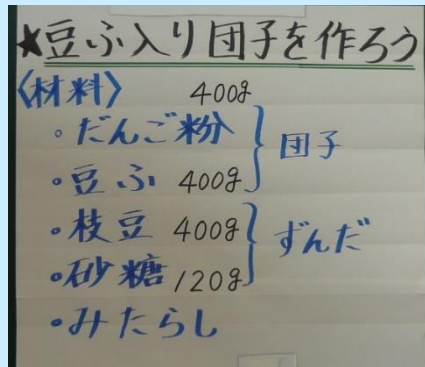
大玉村（10月9日）

大山子ども教室は、大山公民館で毎週金曜日に実施しています。大山小学校の協力を得て、校庭や体育館で遊ぶことができます。玉井子ども教室と同様に、年間で計画されている活動プログラムを行い、その後宿題、自由遊びをしながら迎えを待ちます。

訪問をした日は豆腐入り団子作りを行っていました。各自エプロン、三角巾、マスクを身につけ、さらには調理用ゴム手袋を付けるなど、衛生面に配慮されていました。包丁や火も扱っていましたが、子どもたちは手際よく作業を進めていました。団子に合わせるずんだも、子どもたちは慣れないすり鉢とすりこぎ棒を使いながら作っていました。なおずんだに用いた枝豆は、今年5月に子どもたちが苗植えをし、自分たちで育ててきたものだそうです。



〈 豆腐入り団子の材料と作り方 〉



〈 玉井・大山子ども教室の工夫 〉

玉井子ども教室と大山子ども教室は、同じコーディネーターの方が関わっています。社会教育指導員の方と協力し、両教室でそれぞれ年間約35回の活動プログラムを考えています。プログラムは事前に自分たちで行います。そうすることで活動に要する時間が把握でき、子どもたちが気をつける点や、指導員が注意すべき点にも気付くそうです。また、指導マニュアルもその都度作成します（右図参照）。指導員の方は、このマニュアルが大変ありがたいとおっしゃっていました。さらには学期毎に子ども教室だよりを発行し、活動の様子を保護者に伝えるとともに、保護者ボランティアを募り、実際に活動を見ていただく機会も設けているそうです。

児童下校 14:50	ボランティア集合 14:30
〈今回のテーマ〉収穫した枝豆を使っておやつを作ろう!	
活動時間	活動内容
14:30~	出席簿にサインをする カゴ・名札・ゴミ箱・机を並べる・遊具・本・班割り表・麦茶・調理用具 ボランティア打ち合わせ ★本日のリーダー 武田 悦子さん よろしくをお願いします。
14:50~	児童下校 出迎え → 渡辺 貴美恵さん・武田 真弓さん 受付 → 武田 悦子さん 荷物置き場 → 佐野 浩さん
15:00~	始まりのあいさつ (リーダーさん) ○ボランティアさんの自己紹介 ○活動内容の説明 「ずんだ豆腐団子」(渡辺) ○「今日の約束」(渡辺) (安全・話を良く聞く) ～身支度をして調理室に移動～ (マスク・エプロン・三角巾)
15:10~	おやつ作り (ずんだ豆腐団子作り) 準備物 白玉粉・豆腐・砂糖・枝豆・塩・ボール (2)・すり鉢・すりこぎ棒・大皿 ザル・アルミホイルカップ・醤油・片栗粉 ☆作り方は別紙参照☆ 1班→悦子さん 2班→佐野さん 3班→真弓さん 4班→貴美恵さん ※出来上がったら和室に運び、2班さんの号令で「いただきます」をする。 ～全員で後片付け～
16:30~	宿題をする。
17:00~	自由遊び (ホールでの遊び方について確認) ○和室 → 武田 悦子さん ○外 → 渡辺 貴美恵さん ○ホール → 佐野 浩さん・武田 真弓さん
17:20~	片付け・掃除・ゴミ拾い (掃除は2班中心。その他の児童はホールでクイズ他)
17:30~	読書・宿題をしながら静かに迎えを待つ
18:00~	意見交換 (簡単に)